

H28年度島根県「水と緑の森づくり」アンケート調査について

【趣旨】

水と緑の森づくり税や水と緑の森づくり事業をはじめとする島根県の森づくりに対する思いや、期待等を把握するためにアンケート調査を実施する。

【実施方法】

- (1) 調査項目
 - ① 水と緑の森づくりについて
 - ② その他
 - (2) 調査対象
 - ① 母集団 島根県内の市町村に居住する満20歳以上の男女
 - ② 標本数 2,000人
 - ③ 抽出法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出法
 - (3) 調査方法
 - ① 郵送によるアンケート送付及び回答
 - ② 調査期間：平成28年9月～10月
 - (4) 実施
 - ① 事業主体：島根県林業課
 - ② 調査、検証：島根大学生物資源科学部
- } 共同（H28年8月～H29年2月）

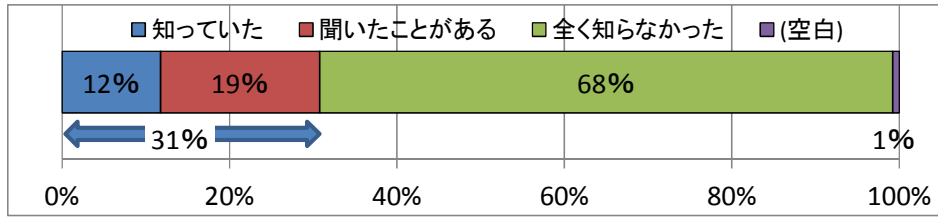
【調査結果—速報版—】

- 有効回答数 759 回答率 38.0%
(H27年度 39.1% H26年度 36.8% H25年度 33.8% H24年度 35.6%)
- 男性 329、女性 418、空欄 12

	男	女	(空白)	総計
(年齢不詳)		2	12	14
10代		1		1
20代	12	25		37
30代	28	102		130
40代	29	64		93
50代	80	151		231
60代	161	71		232
70代	18	1		19
80代	1	1		2
総計	329	418	12	759

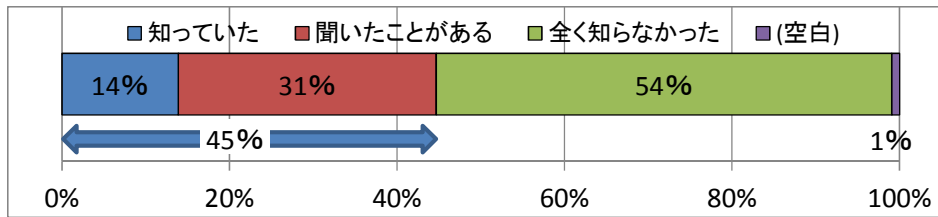
1. 水と緑の森づくり税・事業の認知度について

1) 税の認知度

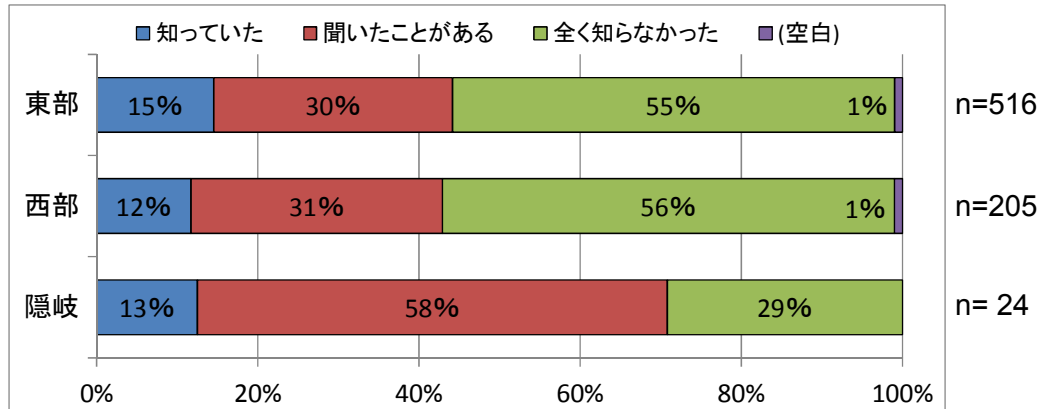


2) 事業の認知度

①全体



②地域別

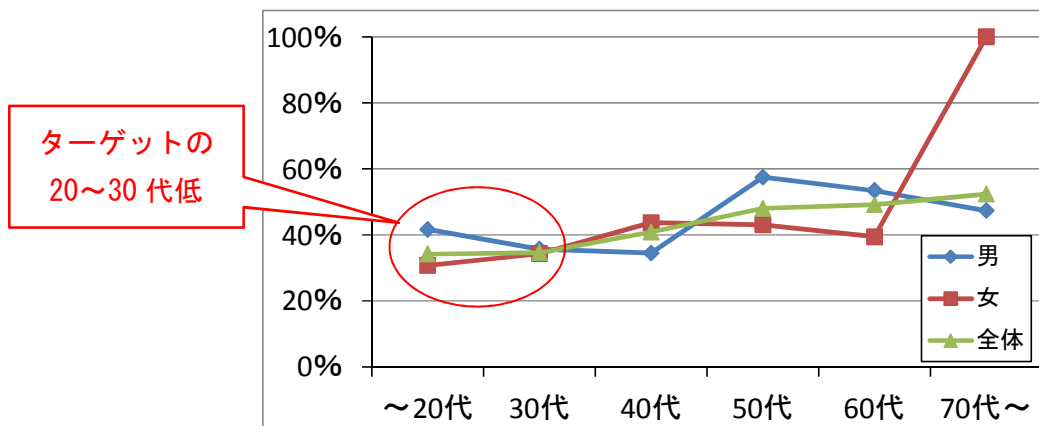


3) 事業認知度の経年変化

全体：近年横ばい、H27→H28 変化：男性でUP、女性でDOWN

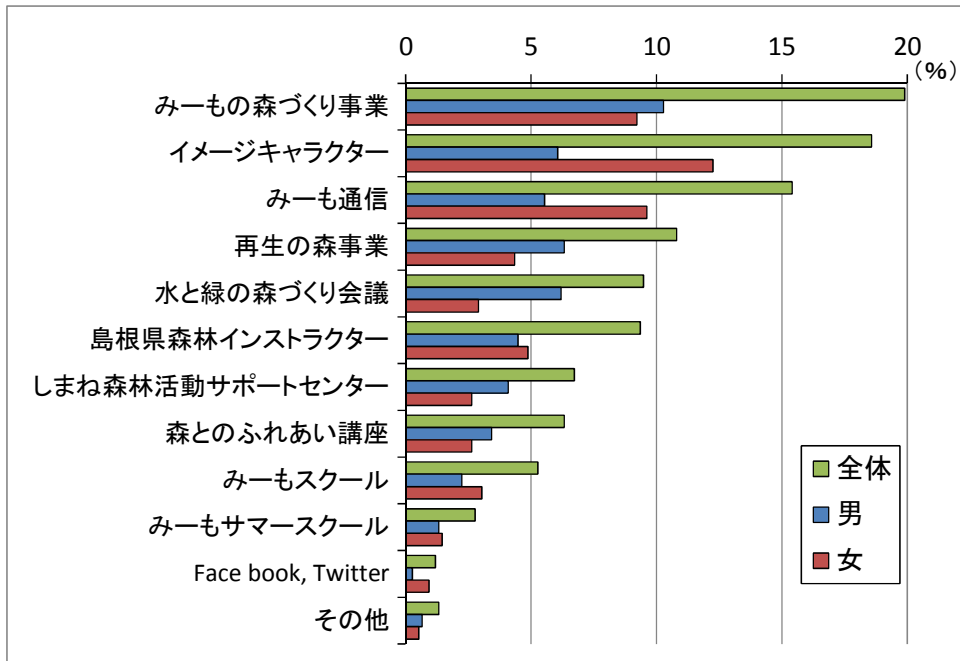
	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
男	55%	—	54%	54%	50%	47%	48%	50%
女	33%	—	37%	44%	45%	43%	43%	40%
総計	42%	41%	45%	48%	47%	45%	45%	45%

4) 男女別年代別認知度



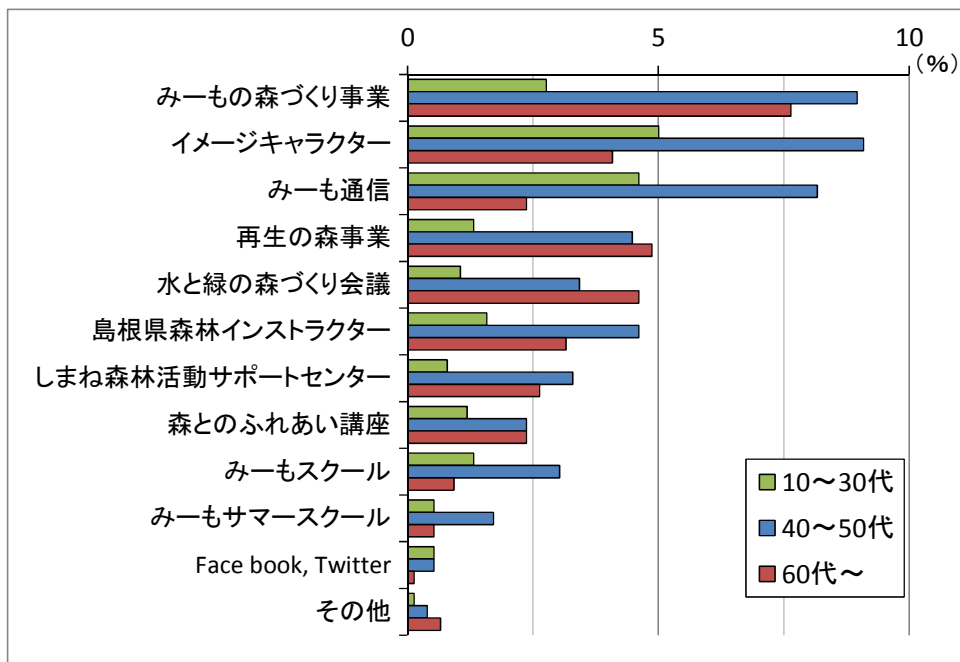
2. 事業別の認知度について（「知っていた+聞いたことがある」人を対象）

1) 全体集計



男性：森林整備事業(再生の森事業等)で高い 女性：広報事業(イメージキャラ等)で高い
 近年、みーも通信の認知度は徐々に高まってきた
 一方、しまね森林活動サポートセンターはパンフレット等でPRするも低いまま横ばい

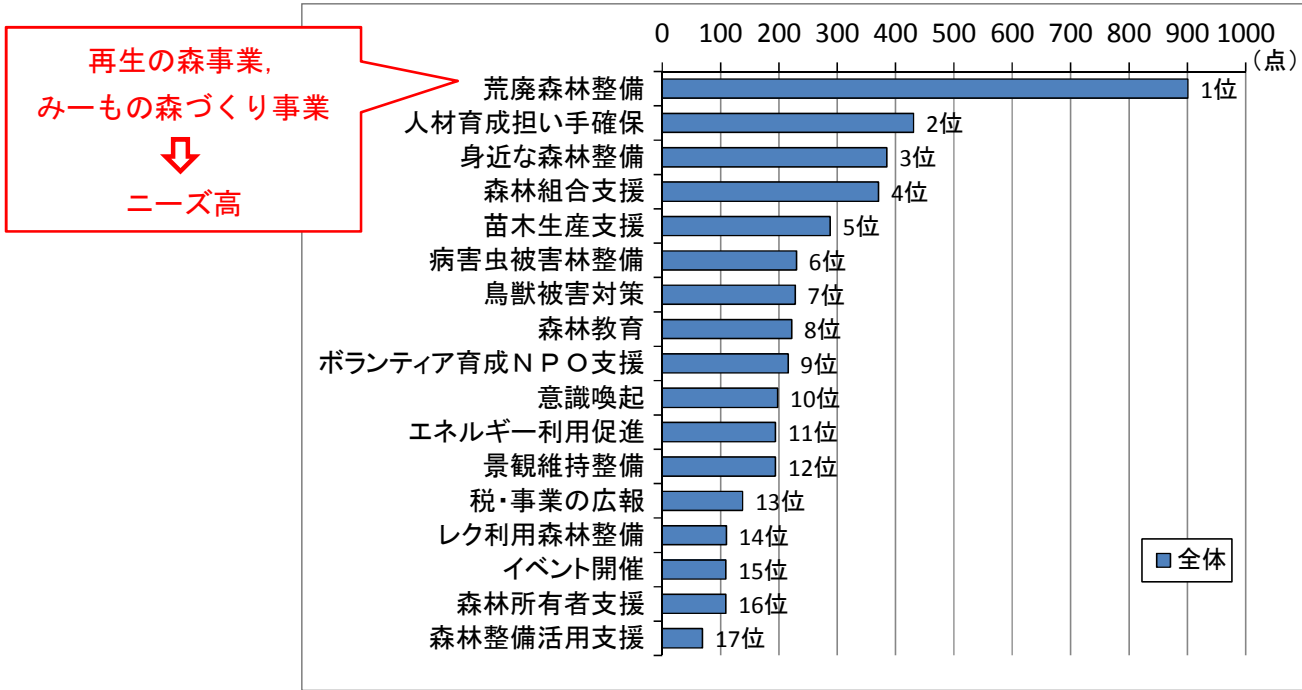
2) 年代別集計



若い世代：広報事業(イメージキャラ等)で高く、森林整備事業(再生の森事業等)で低い
 → 年代が上がるほど、広報事業で低く、森林整備事業で高い

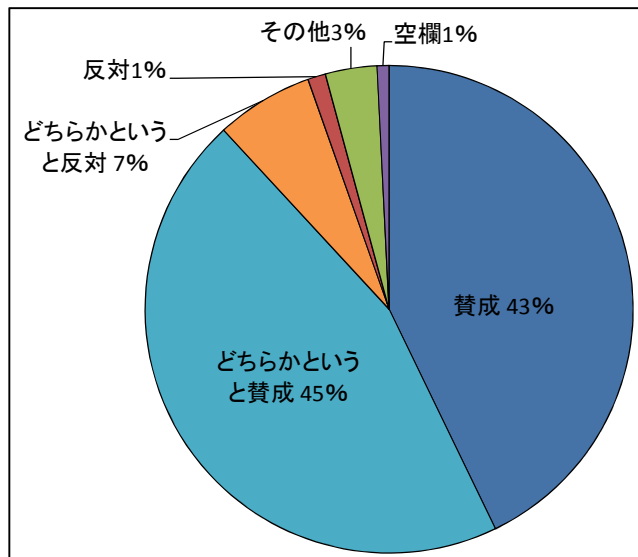
3. 税の使途について

優先順位が高いと考えるもの3つを選択（加重集計：1位3点、2位2点、3位1点）



4. 税に対する賛否について

(1) 平成28年度結果（賛成+どちらかという賛成=88%）

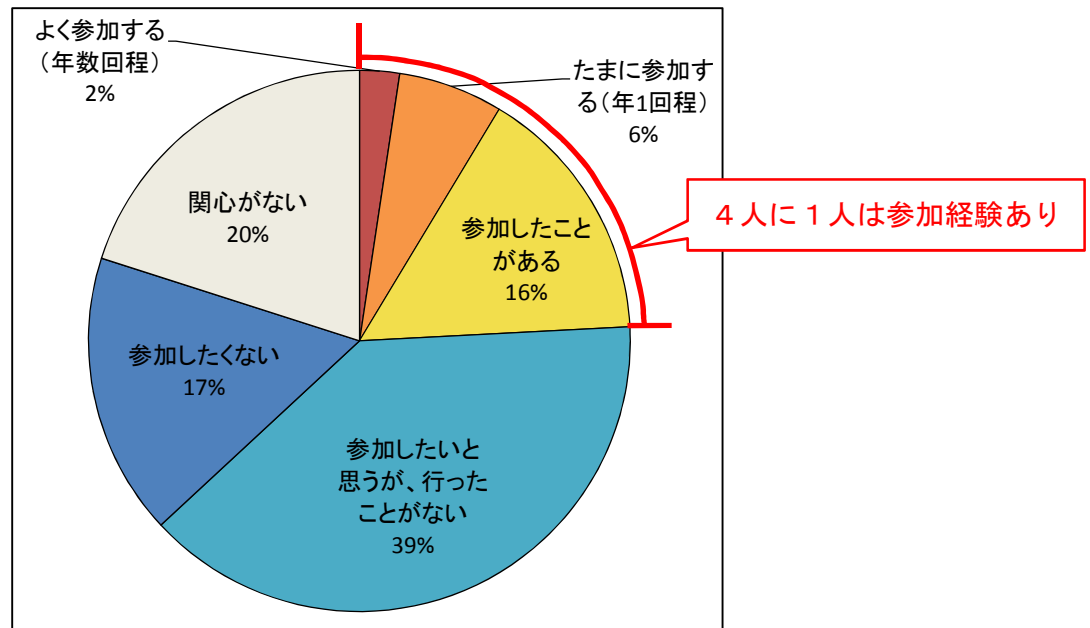


約9割が肯定的

(2) 前年度比較

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
総計	83%	76%	-	88%	88%	91%	90%	88%

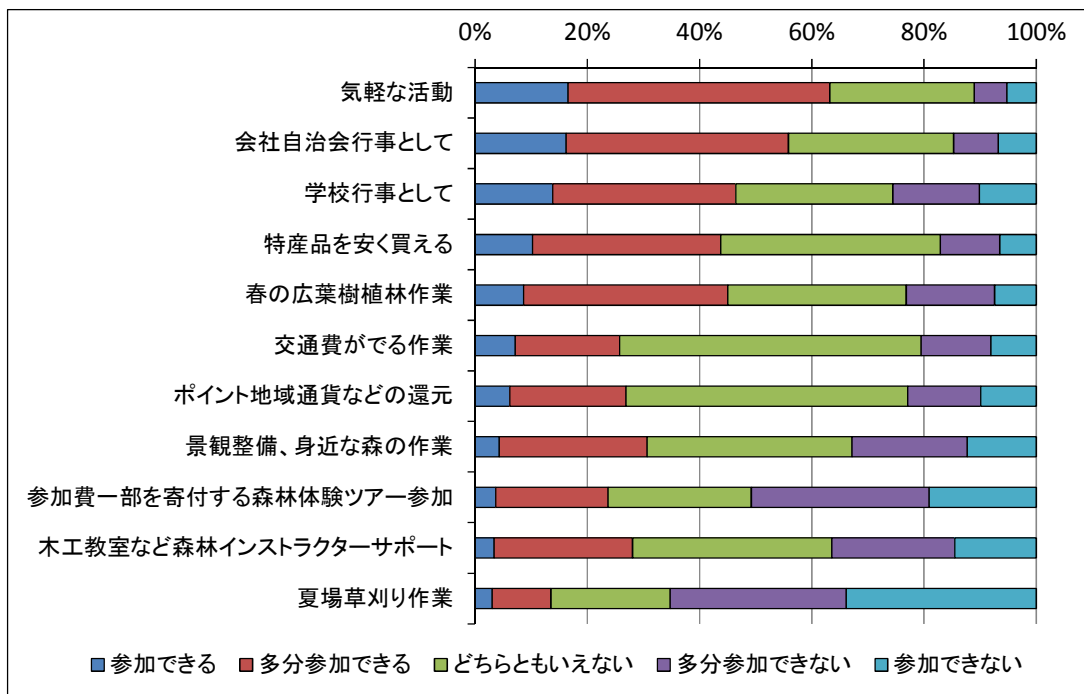
5. 植林体験、枝打ち、草刈りなどの森林ボランティア活動への参加について



課題：「参加したいと思うが、行ったことがない」を「参加したことがある」へシフト

6. どんな森づくり活動であれば参加できますか

(5で「参加したいと思うが、行ったことがない」人を対象)



「参加したことがある」へのシフトに向けて

→ 会社・自治会・学校単位の集団で参加できる気軽な活動(短期・軽作業)の検討が必要